

05. 発表

3つの班が代表して話し合いの結果を発表しました。

1 班「誰が必要とされる場所」

「人がつながる場所、みんなが楽しくて、それぞれが必要とされる場所」にしていきたいと思えます。跡地で働いたり、ボランティアをしたり、誰が必要とされる場所に。そして、トイレやベンチ、どんな人も拒まない空間もあればいいですね。また、子どもたちが草津の歴史をもっと知ることができる場にして、草津の良さに気づいてほしいと思えます。



2 班「人を呼ぶしかけづくり」

まちが分断されていることで、人の交流、特に高齢者や障害のある人の移動が不便という課題があります。また、新旧住民の交流がないので、地域団体に新住民が入るしくみが必要なのではという意見が出ました。草津の宝である草津川を活かすために、人を呼ぶしかけとして、プチ「まちあかり」イベントや季節ごとのイベント、野菜を食べるイベントができればいいと思えます。



8 班「新しい祭り」

新旧の住民の交流が少ないことが特に課題です。その他、交通渋滞や中心市街地がさみしいなども課題としてあります。また、子どもと高齢者の交流機会をつくり、高齢者が子どもたちに草津のことを教える。そして、子どもたちが草津を知り、好きになればいいと思えます。住民同士の連携を高めるには、祭りが大切です。跡地で新しい祭りができるようにしたいと思えます。



06. 講評

皆さんの意見では、市街地が分断されていることや、新旧住民の交流がないことが草津市の課題として共通していました。ぜひ、自分の身のまわりの人に、この話し合いの結果を話してください。そして、草津川跡地の活用に関心を持つ仲間を一人でも増やしていけたらいいですね。



07. 閉会

これから市は、計画に沿ってにぎわい空間の整備を始めます。この空間をよりよく活用するのは市民の皆さんです。魅力的な空間にしていくため、たくさんの人に関わってもらい、ワークショップのことをまわりに伝えてほしいと思えます。そして、次回、お友達を誘ってきてください。



都市計画部 青木室長

アンケートから

- ・いろいろな意見を聞いて、想いが同じことを知った。
- ・旧草津川堤防を早く整備できるよう協力していきたい。
- ・自分と同世代の人が少なかったのもっと呼びかけるべきだと感じました。
- ・参加者の気持ちに火がついたようなきっかけとなる時間だったと思えます。
- ・「想いを語る」ことはおもしろいです！時間が足りないくらい。
- ・最終的にどんな姿でまとまるのが楽しみ。

第2回ワークショップ

「跡地での活動イメージをふくらまそう！」

日時：2014年6月29日（日）

午後2時～5時30分

場所：草津市役所8階 大会議室

【内容】

草津川跡地でフィールドワークを行います。現地を見ながら活動イメージをふくらませ、跡地整備後の将来像を共有しましょう。



studio-L (スタジオエル) は、山崎亮が2005年に設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決するコミュニティデザインに携わる。これまでに、いえしま地域まちづくり、海士町総合振興計画など、まちづくりのワークショップや住民参加型の総合計画づくりなどに携わっている。http://www.studio-l.org

草津川跡地プロジェクト ワークショップ



川の流れを人の流れへ

平成24～25年度に実施した草津川跡地空間のデザインを考えるワークショップ。その結果が反映された跡地の空間設計が進められています。今回から新たに始まるワークショップでは、跡地空間での市民活動のコンセプトやルールを話し合います。

プログラム

日時：2014年6月7日(土)
午後2時～4時30分
場所：草津市立まちづくりセンター
301・302会議室
参加者：78名

01. 開会
02. 草津川跡地整備計画の概要説明
03. レクチャー
04. テーブルワーク
05. 発表
06. 講評
07. 閉会

01. 開会

草津川跡地整備事業では、歴史や自然を大切に、常時は憩いの空間、災害時は避難空間として活用したいという思いから、草津市ならではの空間づくりを進めています。今年度から工事が着手され、優先整備区間である区間2と区間5が平成28年度中に完成予定です。今年度のワークショップでは、整備後の草津川跡地のイメージを作り上げ、共に活動する仲間との仲を深めていただきたいと思います。



都市計画部 田邊理事



このニュースレターは、草津川跡地プロジェクト市民ワークショップの運営を担っている studio-L が作成しています。

02. 草津川跡地整備計画の概要説明



草津川跡地整備課 寺田課長

草津川跡地整備計画では、3つのデザインコンセプト、豊かな緑空間の「景観デザイン」、人の輪をつなぎ、活動の輪を広げる「コミュニティデザイン」、そして「防災・都市環境デザイン」を掲げています。メロン街道から新幹線までの約5.7kmを5つの区間にわけて整備をします。平成28年度に完成予定の区間2は菜園や学校活動ゾーン等があり、区間5には商業、イベント広場ゾーン等が整備される予定です。

03. レクチャー

前回のワークショップで出された市民の意見が、この基本設計に反映されています。跡地は広い空間となっていますので、今日、ここにいる皆さんは、色々なところで、色々な活動ができます。実際の活動をイメージしながら、主体的に話し合いに参加してもらいたいと思います。



studio-L代表 山崎

公園や百貨店で市民活動団体が活動している事例

■有馬富士公園（兵庫県）

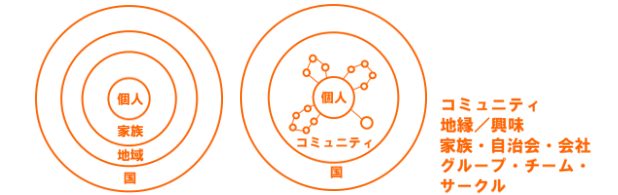
有馬富士公園では、来園者を迎えてくれるキャストの役割を担う市民活動団体が、来園者に向けて園内で様々なプログラムを提供しています。活動を続けていくうちに、活動団体のファンが増える、何度も通ううちに来園者同士が仲間になっていく、年々来園者数が増えている要因はそんなところにあるのかもしれない。

■近鉄百貨店「縁活」（大阪府）

大阪市阿倍野にある近鉄百貨店本店には、店内に「まちステーション」と呼ばれるエリアがあり、そこで市民活動団体が活動しています。縁活事務局の職員が活動をコーディネートしています。また活動団体だけではなく、活動を支えるCSRと呼ばれるボランティアチーム、地域の住民の方々と一緒に「縁活」をつくりあげています。

時代とともに変化するコミュニティ

以前は、個人が中央にそのまわりを家族、地域そして国が同心円上に位置するコミュニティでしたが、今や趣味や会社などでつながる自分なりのコミュニティがいくつも存在する時代になりました。跡地が新たなコミュニティの生まれる場所になるといいですね。



04. テーブルワーク

① まずは自己紹介！

初めて知り合った人も多く、名前と所属、ワークショップへの参加のきっかけ、草津川跡地での思い出を自己紹介に交えて発表しました。



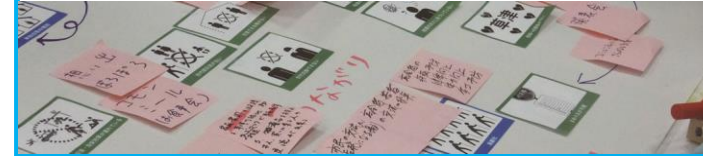
② 草津市の暮らしを考えよう！

暮らしの中で感じる課題についてカードを使って話し合いました。前回のワークショップで出された課題は緑色、新たな追加課題は青色に色分けされています。

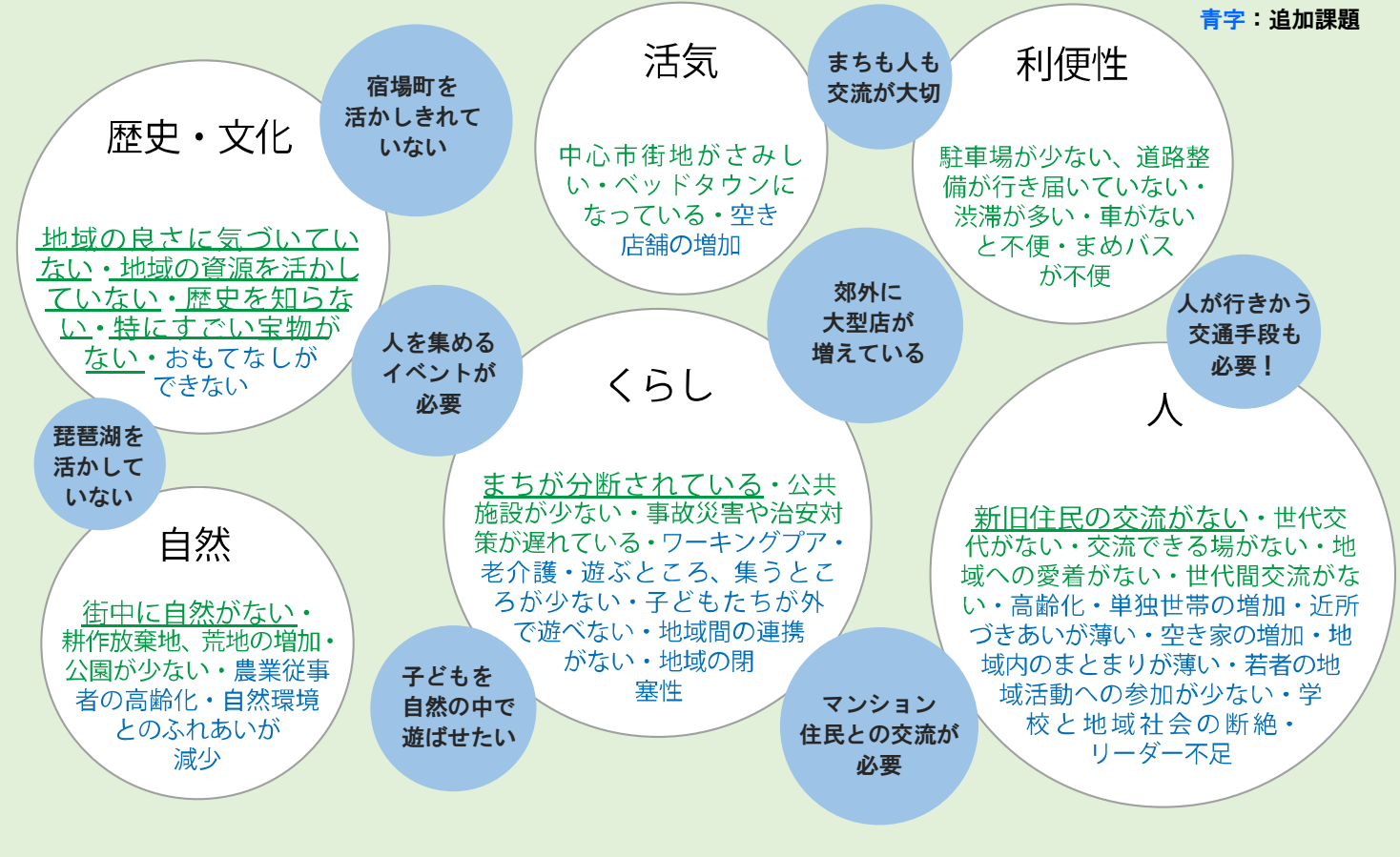


③ 草津川跡地でできることを考えよう！

話し合った課題を受けて、草津川跡地でできる活動について話し合いました。やってみたいこと、あったらいいなと思うこと、色々なアイデアが出ました。



■ 草津市の暮らしの課題についての意見



■ 跡地でやってみたいことのアイディア

草津市の暮らしの課題を受けて出された、草津川跡地でやってみたいこと、あったらいいなと思うこと。これら跡地での活動が、日々の暮らしをよくすることにつながっていきます。

- 交流** ・たくさんの人と語らう・子どもが参加するワークショップ・活動団体の交流会・子どもと高齢者の交流
- 交通** ・レンタサイクル・ペロタクシーの運行
- 情報発信** ・Wi-Fi環境の整備・Facebookで情報発信・日本一をアピール・案内板づくり・地図づくり
- スポーツ** ・スポーツ大会・外ヨガ教室・ウォーキング・犬を連れて散歩・マラソン大会
・子どもから高齢者、障害のある人まで参加できる運動会
- 学習** ・公園マネジメントのイノベーション・まちづくり博物館・小・中・高校生の野外学習・防災セミナー
- 自然野外** ・森の手入れ教室・間伐材でツリーハウス・昆虫育て観察会・竹工芸品教室・桜まつり・もみじ祭り
・水遊び
- ガーデニング** ・畑のレンタルガーデン・花壇づくり・プロによるガーデニング指導教室・草刈り・水やり
- 食** ・焼きいも大会・芋煮会・バーベキュー・茶会・マルシェ・バル・野菜パーティー
- 文化芸術** ・プチまちあかりイベント・コンサート・アートギャラリー・地域のまつり・歴史ツアーリズム
・アニメ好きの集い・パワースポットづくり・野外映画上映会